

平成30年

なかに

9月

中谷自治センターだより

～私達の中谷、「今」。
そして未来へ～

発行者：中谷自治センター

センター長：渡辺 光一

電話番号：0247-26-1457

FAX：0247-26-3068

<今月の予定>

日	月	火	水	木	金	土
						1
2 ・いしかわスキップ ズ広場 10:00 ・町長選投票日	3	4 ・ニコニコ会打合 せ(3班) 19:00	5	6 ・高齢者運動教室 9:00	7 ・パソコン教室 14:00 ・子育てサロン 9.30	8
9 ・いしかわスキップ ズ広場 10:00 ・中田のささら	10	11 ・ニコニコ会 9月 例会(3班) 9:30	12 ・自治協議会 福祉部会 10:00	13 ・高齢者運動教室 9:00	14 ・子育てサロン 9.30	15 ・親と子の読書会 16:00 ・双里区祭礼 15:00
16 ・石川町・双里区 祭礼 9:00 ・久之浜大久地域 づくり協議会来 町	17 敬老の日	18	19	20 ・高齢者運動教室 9:00 ・防犯パトロール 18:00	21 ・パソコン教室 14:00 ・子育てサロン 9.30	22 ・中谷地区敬老会 準備 13:00
23 秋分の日 ・中谷地区敬老 会 6:00	24 振替休日 ・休館日	25	26 ・連絡会 15:00	27 ・高齢者運動教室 9:00	28 ・子育てサロン 9.30	29 ・レディースセミ ナー移動研修 会津方 面
30 ・いしかわスキップ ズ広場 10:00 ・双里区民スポー ツ大会 9:00						

・秋の交通安全運動 9月21日～30日

自治協議会からのお知らせ

おかげさまで 30年7月11日で開店三周年 あなたの健康を第一に!



手作り
惣菜・弁当
オードブル

食彩 あすか

店頭販売

水・木・金
15:00～18:00



予約電話・ファックス 0247-26-8588 (水・木・金 午後)

・文化祭第1回実行委員会 10月2日(火) 19:00～

☆中谷長寿会連合会8月例会☆

7月26日、長寿会連合会8月例会が開催された。サンキュー薬局、中野義照社長(薬剤師)を講師に迎えて、「高齢者のために知っておきたい薬の話」を聞きました。かかり付け薬局を持つことは、お薬手帳を持つこととなり、薬の一元管理ができる大切さ。薬の正しい飲み方、薬の効能、植えては悪い「ケシの花」の話も聞き、健康管理に大変役立つ講義でした。



☆センター周辺環境整備☆

7月27日、中谷区長OB会の皆さんにより、自治センター周辺敷地内の環境整備(草刈り)を実施した結果、敷地内はきれいに除草されました。センターを利用される皆さんに、気持ち良く利用していただけるものと思います。大変暑い中の作業ご苦労様でした。作業終了後の暑気払いで英気を養いました。環境整備(除草・ガラス清掃等)は利用団体の皆さんが、定期的実施しております。



☆子供達がタイルに色付け☆

7月22日に形成して、自治センターにおいて乾燥させていた、タイルの色付けを、子ども達が自分の作品に7月31日～8月3日までに実施し、陶芸家の秤屋先生の所に運搬しました。タイルは施釉、焼成後、久之浜東公園のベンチに、9月下旬久之浜一小の子ども達により貼り付けられる予定です。貼り付け後の出来上がりが楽しみです。



☆楽しく元気に8月例会☆

8月7日、26名の参加者により、ニコニコ会8月例会が開催された。「ひらた中央病院 作業療法士 高橋さん」、「中島医院 リハビリ担当 円谷さん」を講師に迎えて、健康維持のための転倒予防、認知症予防につながる、家庭でも出来る各体操、ゲームの指導を受け参加者全員で楽しく、元気に体操を行いました。体操終了後、ボランティアの皆さんが作った、大変おいしい昼食を食べ解散しました。健康長寿を楽しむため家庭に帰っても時間を見つけて、指導を受けた体操を楽しみましょう。



☆自治協議会第1回理事会☆

8月9日、第1回理事会が開催された。中谷地区計画は次回会議にて結論を出すこととし、各部会からの報告では、年間の取組み事業について、5部会より報告された。取組みが変わりつつある部会は、吉田真澄さんが「生活支援コーディネーター」の指定を受け、役場、社協より協力を得て2回の部会会議を開催しており「地域の暮らしサポート実証事業」で実施し、集約したアンケートの報告、継続事業、傾聴等への取組みも始まり、会議においては次回の会議の日時も決め、生活支援コーディネーター指定への効果が出つつあるのではないのでしょうか。期待大です!



中谷地区敬老会 第2回実行委員会

招待対象者513名、敬老祝い金（75歳）48名、特別敬老祝い金（88歳）24名、中谷行政区長寿座布団贈呈（80歳）29名、しあわせ金婚夫婦5組の第67回敬老会第2回実行委員会が、8月23日開催された。各行政区毎の出席者の確認

「おつまみパック等」の発注数、9月22日会場作り、当日9月23日の進行について説明を受けた後、ボランティア、区長会、民生児童委員、副区長会、長寿会毎に分かれ役割分担の最終確認を行った。

当日ボランティアの方は6時集合、他の実行委員の方は7時集合で準備に入ることを確認をした。

全体打合せ状況



ボランティア打合せ状況



区長打合せ状況
民生児童委員打合せ状況



副区長打合せ状況
長寿会打合せ状況



中谷の民話 《昔話》

今出川と荘束の由来

中田の字矢造にはその昔矢矧(やはぎ)の部族の集落のあった所である。現在下矢造の滝川信青氏の裏山を「矢矧館」と称している。時は平安時代の中頃の事八幡太郎義家は陸奥の蝦夷阿部宗任貞任を討つため東北地方に下られ、賊軍を追って今の玉川川辺から母畑羽貫田に至った時に、日はトツプリと暮れてしまった。義家は止むなくここに一泊し翌朝早く再び賊を追う事となった。出発に先立って具足を整え出発準備をした所が今の「荘束」という地名となって残った。

また義家が下矢造に来た頃は東の空がすっかり明るくなった。ここで義家は戦勝を祈願するため多くの兵卒の前で鶴の首に黄金の短冊をつけて飛ばしてやった。

鶴はひととき高く舞い上がったかと思うとヒラヒラと舞い降りて葦の茂った川端近くにきて見えなくなってしまった。驚いた家来どもは鶴がこの葦から

「今出るか。今でるか。」とまちかねたことからこの川を「今出川」と名づけられたという。

その後しばらくして鶴は葦藪から川上の方へ飛び立ったが間もなく今の山桑山(やまが)の中腹に突き当たって死んでしまった。

家来どもは鶴の死体を懇ろに葬りここに塚をつくったという。

(この塚を鶴塚といえ伝えられている。)

しば縛り石の由来

下双里字谷津相楽一郎氏宅は私の生家である。ここの庭先には百貫もあろうかと思われるダルマ型の石が置いてある。この石の由来については祖父からこんな話を聞かされていた。時はいつの頃かは明らかではないが、ある時旅僧が托鉢(たくはつ)のため私の家にまわり、大石に腰をかけ草履をはきかえてこの石と何か楽しげに話していたが、立ち去るとき草履の縄でこの大石のくびれ目を固く縛りつけたという。翌朝祖父が出てみると固く結ばれたはずの縄はパラリと解けて地に落ちていた。これを見た祖父は今度こそ解けないよう八重結びにし翌朝見たら前同様解けていた何度繰り返してもどんなに固く結んでも必ず解けてしまうという。以来旅僧の仏力によるものとし毎正月には「しめ縄」を張っている。この石をそれから「縛り石」と呼ぶようになり、今では屋敷の事を「雲雀石(ひばりいし)」と呼んでいる。